

2026 年度実験動物関係教職員高度技術研修

【動物福祉の向上に資する麻酔・鎮痛・安楽死方法と in vivo イメージング技術の基礎】 実施要領

1. 目 的

ライフサイエンスの発展とともに、研究機関等における動物実験の果たす役割がますます重要となり、動物実験の内容も高度化・先端化・複雑化が著しい。分野横断的な共同研究の機会も増加しており、研究機関等における研究基盤の機能強化、連携および人材育成の重要性が高まっている。大学等の実験動物関係者に対して実験動物や動物実験に関する幅広い知識や技術、および、実験動物福祉の向上に貢献する最新の知識を修得する機会を提供することは、本邦における動物実験に関する教育・研究の発展に資するものである。

本研修会では、動物福祉の向上に資する麻酔・鎮痛・安楽死方法を学ぶとともに、in vivo イメージング技術の基礎的知識を講義および実習を通じて習得することを目的とする。

2. 主 催

国立大学法人岡山大学研究・イノベーション共創機構附属自然生命科学研究支援センター
国立大学法人熊本大学生命資源研究・支援センター

3. 企画

国立大学法人動物実験施設協議会

4. 研修方法、期間、日程

(1) 研修方法：現地での実習・講義

場所：岡山大学研究・イノベーション共創機構附属自然生命科学研究支援
センター動物資源部門鹿田施設

〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1

(2) 期間：2026 年 11 月 4 日(水)～2026 年 11 月 6 日(金)

(3) 日程：別紙のとおり

5.研修対象者

国立大学法人及び大学共同利用機関法人のうち、技術職員及び非常勤職員を対象とする。

6.募集人数

8 名程度

7.申し込み、決定

(1)申し込み

各機関及び各施設の長は、研修希望者を別紙様式(1,2)により、2026 年 10 月 9 日(金)(必着)までに、熊本大学生命資源研究・支援センター長に推薦する。なお、希望者複数の場合は優先順位を付すこと。

※送付先：iys-senter@jimu.kumamoto-u.ac.jp

(熊本大学生命科学先端研究事務課センター事務チーム 担当：小崎)

※「別紙様式 1,2」は、国立大学法人動物実験施設協議会ホームページ

<https://www.kokudoukyou.org/index.php> 「高度技術研修会案内」よりダウンロードができます。

(2)決定

熊本大学生命資源研究・支援センター長は、前項により推薦された者の中から研修生を決定し、各機関及び各会員施設の長に通知する。

8.研修課題及び内容

(1)研修課題

動物福祉の向上に資する麻酔・鎮痛・安楽死方法と in vivo イメージング技術の基礎

(2)研修内容

動物福祉の向上に資する麻酔・鎮痛・安楽死方法に関する基本的な知識、倫理的概念を身につけるための講義と、研究支援に必要とされる取り扱い実習を行う。また in vivo イメージング技術についても基礎的な知識習得のための講義、実習を行う。本研修を通して麻酔・鎮痛・安楽死に係る研究支援や、イメージング機器をはじめとする研究機器の利用・管理等について

意見交換と相互交流をはかる。

9.経 費

研修料は無料とし、研修旅費は熊本大学生命資源研究・支援センターにおいて負担する。

10.修了証書

本研修の所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。